

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告

都道府県名	03 岩手県
市区町村名	03207久慈市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年目標値	本年実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
03207久慈市	②学校と地域の課題		市内では高齢化や長期間に及んだコロナ禍の影響などにより、学校に関わる地域の方々の人数が減少した。また、児童・生徒数の減少により、市内小中学校は統廃合に向けた動きが進んでおり、今後、学校と地域との関係の希薄化が進行する恐れがある。	希望校に学校支援地域コーディネーターを配置し、（配置日数は学校希望により年間20日～150日程度）地域との連絡調整役を担い、教職員の負担軽減を図る。また、コーディネーター自身の負担や困りごとに配慮するため、コーディネーター同士の情報共有・交換の機会を増やす。	コーディネーター会議での情報交換は、お互いが抱えている困りごとや疑問点の解決に繋がる非常に有効なものであるとコーディネーター自身からも話が上がっている。会議・情報交換の回数を増やすことで、コーディネーターの活動をより効果的なものにする。	学校運営協議会の活用や教育振興運動実践区との連携に加え、コーディネーター同士の情報交換の機会をこれまでよりも増やすことで、学校に関わる新たな人材の発掘につながり、人数が増加する。	地域ボランティアや地域住民の学校行事への参加人数（当該事業実施校からの報告書）	438 9	人	480 0	434 8	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫改善が求められる 学校運営協議会との連携やコーディネーターの情報交換・情報収集の場として、関係者が集まる教育振興運動実践交流会において熟識を開催した。実践者同士の交流の場となり、他地区の実践事例などを共有することができた。コーディネーターの地域への働きかけが新規ボランティアの獲得に繋がっているが、一方でコーディネーター配置ができなかった学校では参加人数が減少しているため、コーディネーターを担える人材の確保が必要である。加えて、コーディネーターを配置しての新規ボランティア募集や、学校行事への参加呼びかけについても引き続き取り組み、学校へ関わる住民の増加に努める。	https://www.city.kuji.lg.jp/soshiki/shogaizakushu/1/6/6555.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。